

## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 7 月 31 日

上場会社名 株式会社シーティーエス 上場取引所 JQ  
 コード番号 4345 URL <http://www.cts-h.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 安藤 恭治 TEL (0268)26-3700

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	762	(0.1)	79	(9.9)	82	(12.8)	47	(11.9)
19年3月期第1四半期	761	(2.8)	71	(47.6)	73	(48.2)	42	(36.6)
19年3月期	3,081	(1.7)	373	(26.4)	379	(27.9)	208	(23.4)

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	3,132	84	—	—
19年3月期第1四半期	2,623	74	2,546	04
19年3月期	13,385	35	—	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	2,529		1,737		68.7	117,436	27	
19年3月期第1四半期	2,601		1,840		70.8	114,395	18	
19年3月期	2,604		1,830		70.3	121,078	02	

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	103		△14		△123		477	
19年3月期第1四半期	△22		△11		△60		512	
19年3月期	308		△10		△391		513	

2. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	1,472	(0.5)	140	(6.8)	140	(6.2)	79	(6.0)	5,288	83
通期	3,200	(3.8)	400	(7.0)	400	(5.5)	230	(10.5)	15,469	39

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・~~無~~

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : ~~有~~・無

[(注)詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成19年 4 月 1 日から平成19年 6 月30日まで）における当社の主要取引先である土木建設業界は、地方自治体を中心とした段階的な公共投資の削減が継続しており引き続き厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は前期より注力しておりますデジタルカラー複合機を中心としたシステム機器のレンタル受注が順調に推移したことにより、「システム事業」の売上高が前年同期を上回る実績を確保することができましたが、「ハウス備品事業」における販売実績が前年同期を下回る結果となり、全体の売上高は前年同期並みの762,099千円（前年同期比0.1%増）となりました。

利益面におきましては、レンタル収入原価の削減により売上総利益率が改善し、販売費及び一般管理費の増加があったものの、前年同期を上回る結果となり、経常利益 82,369 千円（前年同期比 12.8%増）、四半期純利益 47,233 千円（前年同期比 11.9%増）となりました。

なお、当社は、事業展開の変化ならびに事業領域の拡大に伴い、当期より事業部門の区分を変更いたしました。詳細につきましては、9 ページの「6. 事業部門別の状況」をご参照ください。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の財政状態につきましては、総資産が 2,529 百万円となり、前期末（2,604 百万円）と比較して 74 百万円減少し、純資産については 1,737 百万円となり、前期末（1,830 百万円）と比較して 92 百万円減少いたしました。

総資産が減少した主な要因は、期末配当金の支払いや自己株式の取得を実施したことにより、現金及び預金が減少したものであります。

純資産が減少した主な要因は、剰余金の配当（92 百万円）と自己株式の取得（49 百万円）が四半期純利益（47 百万円）を上回ったことによるものであります。これにより、自己資本比率は 68.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、前期末（513 百万円）と比較して、現金及び現金同等物（以下「資金」という）が 35 百万円減少し 477 百万円となりました。

営業活動により獲得した資金は 103 百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益 82 百万円、資金支出を伴わない費用である減価償却費 17 百万円、さらに売上債権の減少額 98 百万円を加味した資金の獲得に対して、法人税等の支払額 50 百万円が充当されたことによるものであります。

投資活動により使用した資金は 14 百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得 8 百万円、無形固定資産の取得 6 百万円によるものであります。

財務活動により使用した資金は 123 百万円となりました。これは、自己株式の取得 49 百万円及び配当金の支払 74 百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期の業績は概ね当初の計画通りに推移しており、現時点での業績予想につきましては、平成 19 年 5 月 10 日発表の中間及び通期の業績予想に変更はございません。

#### 4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当期より法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を 5 年で均等償却しております。

なお、これらの変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	512,199	477,786	△34,413	△6.7	513,141
2 受取手形	171,619	187,711	16,091	9.4	204,064
3 売掛金	482,535	444,765	△37,770	△7.8	521,589
4 たな卸資産	30,536	40,232	9,696	31.8	41,972
5 その他	44,538	97,205	52,666	118.3	63,048
貸倒引当金	△11,442	△20,515	△9,073	79.3	△12,955
流動資産合計	1,229,988	1,227,186	△2,801	△0.2	1,330,860
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) レンタル資産	84,865	58,702	△26,163	△30.8	62,700
(2) 建物	297,812	290,912	△6,899	△2.3	292,530
(3) 土地	800,361	740,361	△60,000	△7.5	740,361
(4) その他	64,718	75,580	10,862	16.8	68,879
有形固定資産合計	1,247,757	1,165,556	△82,200	△6.6	1,164,470
2 無形固定資産	52,382	51,349	△1,032	△2.0	47,897
3 投資その他の資産					
(1) 投資その他の資産	73,723	87,869	14,145	19.2	63,684
貸倒引当金	△2,370	△2,356	13	△0.6	△2,356
投資その他の資産合計	71,352	85,512	14,159	19.8	61,327
固定資産合計	1,371,493	1,302,418	△69,074	△5.0	1,273,695
資産合計	2,601,481	2,529,605	△71,876	△2.8	2,604,555

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	227,752	313,196	85,443	37.5	288,254
2 買掛金	156,826	122,415	△34,411	△21.9	148,561
3 一年内返済予定 長期借入金	23,465	—	△23,465	—	—
4 未払法人税等	27,080	32,287	5,207	19.2	53,392
5 その他	114,486	204,252	89,766	78.4	165,745
流動負債合計	549,610	672,150	122,540	22.3	655,953
II 固定負債					
1 長期借入金	122,220	—	△122,220	—	—
2 その他	89,147	119,515	30,367	34.1	118,023
固定負債合計	211,367	119,515	△91,852	△43.5	118,023
負債合計	760,977	791,665	30,688	4.0	773,977
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	425,996	425,996	—	—	425,996
2 資本剰余金	428,829	428,829	—	—	428,829
3 利益剰余金	976,035	1,094,179	118,144	12.1	1,139,172
4 自己株式	△546	△218,264	△217,717	—	△168,344
株主資本合計	1,830,314	1,730,740	△99,573	△5.4	1,825,653
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価 差額金	10,189	7,198	△2,991	△29.4	4,925
評価・換算差額等合計	10,189	7,198	△2,991	△29.4	4,925
純資産合計	1,840,504	1,737,939	△102,564	△5.6	1,830,578
負債及び純資産合計	2,601,481	2,529,605	△71,876	△2.8	2,604,555

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	761,653	762,099	446	0.1	3,081,498
II 売上原価	464,733	437,908	△26,825	△5.8	1,793,505
売上総利益	296,920	324,191	27,271	9.2	1,287,992
III 販売費及び一般管理費	224,948	245,100	20,152	9.0	913,996
営業利益	71,971	79,090	7,118	9.9	373,996
IV 営業外収益	2,329	4,674	2,344	100.6	9,671
V 営業外費用	1,301	1,395	94	7.3	4,373
経常利益	73,000	82,369	9,368	12.8	379,294
VI 特別利益	—	—	—	—	992
VII 特別損失	—	—	—	—	20,460
税金等調整前 四半期(当期)純利益	73,000	82,369	9,368	12.8	359,826
法人税、住民税 及び事業税	25,795	30,917	5,121	19.9	116,858
法人税等調整額	4,991	4,218	△772	△15.5	34,915
四半期(当期)純利益	42,213	47,233	5,019	11.9	208,052

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 税引前四半期(当期)純利益	73,000	82,369	359,826
2 減価償却費	21,998	17,087	92,422
3 貸倒引当金の増加額	3,645	7,559	5,144
4 受取利息及び受取配当金	△303	△366	△429
5 支払利息	860	122	1,870
6 固定資産売却益	—	—	△992
7 固定資産売却損	—	—	20,000
8 固定資産除却損	—	—	460
9 売上債権の減少(△増加)額	42,311	98,897	△31,267
10 たな卸資産の減少(△増加)額	△1,947	1,740	△13,384
11 仕入債務の増加(△減少)額	△28,500	1,866	71,798
12 その他	△18,791	△55,183	△16,218
小計	92,271	154,091	489,230
13 利息及び配当金の受取額	303	366	429
14 利息の支払額	△860	△122	△1,577
15 法人税等の支払額	△113,964	△50,764	△180,058
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,249	103,571	308,022
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 有形固定資産の取得による支出	△9,180	△8,457	△30,005
2 有形固定資産の売却による収入	—	—	41,761
3 無形固定資産の取得による支出	△3,416	△6,740	△21,629
4 貸付金の回収による収入	46	48	190
5 その他	566	218	△1,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,983	△14,930	△10,803
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 長期借入金の返済による支出	△6,075	—	△151,760
2 自己株式の処分による収入	—	—	2,500
3 自己株式の取得による支出	—	△49,920	△173,000
4 配当金の支払額	△54,492	△74,075	△68,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,567	△123,995	△391,077
<b>IV 現金及び現金同等物の減少額</b>	△94,799	△35,355	△93,857
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	606,999	513,141	606,999
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	512,199	477,786	513,141

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

6. 事業部門別の状況

販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

年度別 事業部門	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)		当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
ハウス備品事業	290,200	38.1	254,846	33.4	1,087,038	35.3
システム事業	195,859	25.7	244,219	32.1	851,389	27.6
工事・安全用品事業	155,041	20.4	162,518	21.3	684,146	22.2
測量機器事業	120,553	15.8	100,514	13.2	458,924	14.9
合計	761,653	100.0	762,099	100.0	3,081,498	100.0

- (注) 1 記載金額には消費税等は含まれておりません。  
 2 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
 3 当社は、事業展開の変化ならびに事業領域の拡大に伴い、当期より事業部門の区分を上記のとおりに変更いたしました。なお、「平成 19 年 3 月期第 1 四半期」及び「平成 19 年 3 月期 (通期)」の数値については、変更後の事業部門にて作成しております。

(参考)

事業部門	事業内容
ハウス備品事業	ユニットハウス、什器・備品のレンタル及び販売
システム事業	デジタルカラー複合機、インクジェットプロッタ、ネットワーク機器等のレンタル及び販売
	CAPS 経営支援シリーズ(レンタル、建設、製造)の販売及び導入運用支援
工事・安全用品事業	道路標示・標識及び環境・景観分野の工事施工
	各種安全用品のレンタル及び販売
測量機器事業	測量機器等のレンタル及び販売ならびに修理・校正・保全サービスの提供
	中古測量機器のオンラインマーケット「ジオネットジャパン」の運営